	务事業ID 559	平成	25	年度	事	務事	業マ	ネジメン	トシ		٢		平	成 2	25 年	7	月 2	5 日	作成
-	事務事業名	林業用施設補修事業						>	☑ 実施計画登載事業			□ 合併建設計画登載事業							
政	政策名	0 5								事業期間				予算 会計 款 項			科目 項 目 事業		
策体	施策名				を生かし					単名	年度のみ				ДП	190	- 74	н	チベ
系	基本事業名	0 3							~	-	年度繰返 開始 不	明:	年度	€ ∼)					
	根拠法令								1 _				1 2	,	01	06	02	02	02
所	部課名	農林水	産 部原	農杯課	:						間限定複数年度 ŀ画期間】								
属	係名	農林土	木係			電話 内線		7–3111 7125		· 全休	年度 / 計画欄の総		まな言	年度					
					順、詳細	。期間阿	艮定複数	な年度事業は	全体像	を	記述)				画(※	期間限	定複数	年度の	み)
ず、森林主(切な森林整備を 大雨時などには 整備に支障をき な業務内容 即補修現地確認 業費は補修委言	、路面流 たさない ②補修	失、土 よう、缶 委託業	砂崩壊 季年、逐 務 ③	が起こり、	林道利用 設の補修	に支障を	ときたす状況が					総投入量(す	人 件 費	都道所	.従事人 :務時間 :計(B)	数		0 0 0
(1)	現状把握の部 事務事業の目 手段(主な活動	的と指標	ā,							©	活動指標	·	He = 30	7 T D					
前年	F度実績(前年	度に行っ								3	/白 到 1日1示(争務争身	名		支す指標)			単位	
•補 [·]	修事業地を確認	、補修を	委託し	た。完 ⁻	了後確認、	検査を行	うった。		2	ア	業務委託件	‡数						件	
	F度計画(今年 修事業地を確認					検査を行	デ う。			イウ	116.15								
2	対象(誰、何を	対象にし	てい	るのか)*人や	自然資源	原等			6	対象指標	(対象のブ	tきさ 名		標)			単位	<u>ነ</u>
•補·	修が必要な林道								2	カ	補修する箇	i所周辺	<u>1</u> の7	林家				戸	
									7	+	林道補修要	學望箇月	折					箇戸	ŕ
	意図(この事業 道が整備され、ホ									ク			_						
						Ü			1	7	成果指標	対象にお			達成度を表	きず指標)) 14 /-	Ļ
									7	++	林道補修篋	前子 / 知	名 al修		iīfi			<u>単位</u> %	
_	結果(基本事業 定して林業を営む		:上位	の基準	本事業に	どのよう	に貢献る	するのか)		シシ	四侧肝虫科	ч <i>и</i> / / / 11	巾炒	心女臣	1771			/0	
										ノス									
(2)	総事業費·指標	票等の推	:移						\										
1				-	年度	23年度	そ (実績)	24年度(実	績) 2	5年	度(目標)	26年	度(目標)	27年	度(目標	票) 2	8年度(目標)

(2,	(2) 総事業質・指標寺の推移										
					年度 単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
		<u></u> 国庫支出金			千 円	4,508					
	事	り	財 都道府県支出金 地方信		千 円						
投入	業	内	山 地刀頂		千 円						
	未	訳	7 2 0 11.		千 円						
	貝	하	一般財源		千 円	3,856	6,196	7,000	7,000	7,000	7,000
量		事業費計(A)		千 円	8,364	6,196	7,000	7,000	7,000	7,000	
里	人	正規職員従事人数			人	1	1	1	1	1	1
	件費	延べ業務時間			時 間	300	250	250	250	250	250
		人件費計(B)			千 円	1,200	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	トータルコスト(A)+(B)			千 円	9,564	7,196	8,000	8,000	8,000	8,000	
		ア			件	23	14	20	20	20	20
		⑤活動指標 イ		1							
		ゥ									
		カ			戸	30	25	25	25	25	25
	⑥対象指標 キ			箇所	28	20	20	20	20	20	
		ク		ク							
				サ	%	82	70	100	100	100	100
		⑦成果指標シ		シ							
				ス							

事務事業ID 559 事務事業名 林業用施設補修事業

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

性

評

事業の内容が一部の受益者に偏って

いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?

①この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

・事業開始年度は不明であるが、森林所有者、林業従事者等、林道使用者から補修等の要望がなされる。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか?

- ・杉等の価格低迷により、林業者による森林作業が難しい状況にあることから、林業者の経費節減を図りながら、林業生産物が安定して生産・供給されるよう、林 道の維持補修に努めなければならない状況である。
- ・林道のほとんどが、舗装されていないため、大雨時などに、路面流失、法面崩壊が起こり、林道利用に支障をきたす状況が毎年生じている。このため、森林整 備に支障をきたさないよう、逐次、林道施設の補修が必要な状況である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・林道の破損箇所等が発生する都度、林業関係者より、早急な補修、復旧が求められる。

2	評価の部(SEE) * 原則は事後評	価、ただし複数年度事業は途中評価
目的妥当性評価	① 政策体系との整合性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ■ 結びついている ⇒【理由】 →
	この事務事業の目的は当市の政策体 系に結びつくか?意図することが結 果に結びついているか?	・林道補修をすることにより、容易に森林施業を実施することが可能となり、健全な森林育成を図られ、良質材の生産が可能となる。その結果、林業振興に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映妥当である ⇒【理由】 →
	なぜこの事業を当市が行わなければ ならないのか?税金を投入して、達 成する目的か?	・林道は市が管理すべき路線であり、また、健全な森林育成による林業の振興及び森林の公益的機能(水保全、大学 浄化、国土保全等)の向上を図る上で、市の関与は妥当である。
	③ 対象·意図の妥当性	見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映適切である ⇒【理由】 →
	対象を限定・追加すべきか?意図を 限定・拡充すべきか?	・破損箇所等の補修整備に照らした対象と意図であり、補修箇所が毎年発生している現状では、拡大縮小の余地はない。
	④ 成果の向上余地	✓ 向上余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映□ 向上余地がない ⇒【理由】 →
	成果を向上させる余地はあるか?成 果の現状水準とあるべき水準との差 異はないか?何が原因で成果向上が 期待できないのか?	・予算の確保により、補修が必要な箇所について、早急に補修を実施する。
有	⑤ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映影響有 ⇒【その内容】 →
効性評	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	・廃止、休止は、森林整備を困難なものとし、森林の荒廃を招くことにつながり、林業振興を妨げる。
価	⑥ 類似事業との統廃合・連携 の可能性	□ 他に手段がある つ (具体的な手段,事務事業)
	目的を達成するには、この事務事業 以外他に方法はないか?類似事業と の統廃合ができるか?類似事業との 連携を図ることにより、成果の向上	□ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 □ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 → ・限定された箇所で小規模な補修に対応する事業であり、他に手段がない。
	が期待できるか?	 ▼ 他に手段がない
効率	⑦ 事業費の削減余地	□ 削減余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映☑ 削減余地がない ⇒【理由】 →
	の協力など)	・事業費の削減は、破損した林道等の早期修復を妨げ、森林所有者、林業従事者等、林道使用者に多大な迷惑をだけ、林業振興を妨げる。
性評	⑥ 人件負(延へ未務時间)の削	削減余地がある ⇒【理由】 → ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 削減余地がない ⇒【理由】 →
価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	・補修現地確認、補修委託業務、完了確認など、事務事業に見合った業務所要時間であり、削減の余地はない。
公平	⑨ 受益機会・費用負担の適正 化余地	見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映✓ 公平・公正である ⇒【理由】 →

ら、受益者に負担を求めることはできない。

・林道は、健全な森林育成による林業の振興を図る上で不可欠なものであり、かつ、市が管理すべき路線であることか

事務事業ID 559	事務事業名 林業用施設補修事	等 業	
3 評価結果の総括と今後の	- 方向性(次年度計画と予算への反映)	(PLAN)	
(1) 1次評価者としての評価結	i果 (2枚目と整合を図ること)	(2)全体総括(振り返り、反省)通行に支障をきたすこととなった	
① 目的妥当性	☑ 適切 □ 見直し余地あり	通りに大陸ととだっことになった	これをはくと言うれて口 シバこ
② 有効性	☑ 適切 □ 見直し余地あり		
③ 効率性	☑ 適切 見直し余地あり	7	
④ 公平性	☑ 適切 □ 見直し余地あり		
(3) 次年度の方向性(改革改善	善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休	止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果
事業のやり方改善 (▽ (上記方向性に対する具体			左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成株
			果 低 X X X
(5) み茎み美な実現するとで	解決すべき課題とその解決策又は特	印度 百年	
特になし。	作人 タ 、 こ 味 屋 C C の 作 人 承 入 は 付 i	心事快分	
		(職 名) ※原則として施策の主	管課長 (氏 名)
4 事務事業の2次評価結果		5者 農林課長	
(1) 1次評価結果の客観性とと			
①記述水準(1次評価の記 □ 記述不足でわかりに □ 一部記述不足のとこ ▼ 記述は十分なされて	ろがある		
□ 客観性を欠いており □ 一部に客観性を欠い	を評価を行った後に総合的に判断して 評価が偏っている(事務事業の問題だ かたところがある ている(事務事業の問題点、課題が認	、課題が認識されてない)	
(2) 2次評価者としての評価結	 課	(3) 評価結果の根拠と理由	
① 目的妥当性	☑ 適切 □ 見直し余地あり	通常の維持補修に努めた。	
② 有効性	☑ 適切 □ 見直し余地あり		
③ 効率性		→	
(4) 次年度の方向性(改革改憲		ル・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果
「 廃止	目的再設定 □ 事業統合・連携 □ 効率性改善 □ 効率性改善 □		左記(4)により期待できる成果について該当欄に 「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる 場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
5 最終評価結果			
(1) 行政経営推進会議等での	指摘事項		